



広報のと

第69号

平成22年11月1日発行

発行・能登町 編集・広報情報推進課
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町字出津新1字197番地1

☎：0768-62-10000
能登町URL：http://www.town.noto.jp
Eメール：info@town.noto.jp

英国の能登と
イギリス 日和 日和

能登町を古里として
英国で活躍する抒情書家

室谷文音がつづる
フォトエッセイ。



秋のハーモニーセンターでの展覧会のために作品をスーツケースに入れて、ロンドンっ子のウィルが、初めて日本へやって来てくれました。奥能登の景色に感動し、次回は能登で撮った写真を使って、作品を作りたいと言ってイギリスに帰国しました。



能登で過ごす秋は今年が初めてです。イギリスの秋はとても短いので、少しづつ紅葉する木々を眺めたり、スキが風に揺れる景色が見ることができ、うれしいです。

「留学生生活」

「お母さん、留学ってお金持ちがするのね！」
他人が聞いたら「何を今更」と思うかもしれませんが、イギリス留学して8年目の時初めて気がつきました。

ロンドンの美大セントラル・セイント・マーティンズでは同じ東洋からの留学生は皆「余裕」がありました。

大学3年の時「もうこれ以上は行かせてやれない」と両親に言われ、辞める覚悟で学校事務局に奨学金制度や学費を分割で払えるように掛け合いました。すでに働いていた高級カシミアのセーター屋さんのアルバイトの量を増やし、その店の「お掃除のおばさん」もやりました。

平日の朝7時から、トイレ掃除をして学校へ行き、夜8時警備員のおじさんに教室を追い出されるまで作品を造っていました。

「今時、苦学生はめずらしい」

「日本人はお金持ちじゃなかったの？」
とひやかされながら、なぜか友達は増えていきました。

2003年7月。卒業証書を受け取り上がった教壇で、学長さんに「無事卒業できて良かったな」とウインクされた時は涙がこぼれそうでした。

みんなに助けられ、支えられ、見守られ生きているんだと痛感しました。
感謝の気持ちでいっぱいでした。



室谷文音 (むろや・あやね)

昭和55年大阪府生まれ。13歳で単身渡英し、平成18年に両親と共に能登町に移住。内浦長尾にアトリエ「桃花林」を構える。海外アーティストらとの合同展『遠島山公園「ハーモニーセンター」物語』を11月11日まで開催中。



『情熱』



300以上の糸から感じる
六畳風の重みと能登の風

広報のと
No. 69
2010.11
能登

11
平成22年

10月17日に植物公園で開催された「第6回全国風あげ能登大会」は、全国各地から約250人の風愛好家が集まり、手ごわいとされる能登の風と向き合いました。写真は石井壮年団の六畳風。大会5日前に完成したばかりという大風は、1時間以上能登の空に舞い上がり続けました。